次郎長と小天狗　殴り込み甲州路（1962）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 86分
初公開日 1962/09/22

【解説】
　村上元三の小説『喧嘩笠』を「橋蔵のやくざ判官」のマキノ雅弘と「柳生武芸帳　独眼一刀流」の結束信二がシナリオ化し、マキノがメガホンをとった。音楽は「若き日の次郎長　東海道のつむじ風」の服部良一が担当。主演は「源九郎義経」の北大路欣也と「ちいさこべ」の中村錦之助。
　小天狗と呼ばれる上州の大前田栄次郎は、騒ぎを起こして旅立たされた。その留守中に大前田邸を訪ねた清水の次郎長一家は、栄次郎の身代わりとして牢に入っている栄五郎から、栄次郎の身柄を頼まれる。その栄次郎は無一文のまま海老屋甚八の家にたどり着くが、誘われて賭場へ行っている間に甚八を殺されてしまい、責任感から下手人である武居のドモ安を斬ることを決意する。そこへ次郎長一家が追いつくが、栄次郎は自分一人でドモ安を斬るので手を引いてくれと頼むのだった。

【クレジット】
監督 マキノ雅弘
企画 小川貴也
　　翁長孝雄
原作 村上元三
脚本 マキノ雅弘
　　結束信二
撮影 吉田貞次
美術 鈴木孝俊
音楽 服部良一
出演 北大路欣也
　　中村錦之助
　　小林哲子
　　薄田研二
　　水島道太郎
　　ジェリー藤尾　Jerry Fujio

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.